

# 西原町の平成14年度予算

予算とは、1年間にお金がいくら入ってくるか(歳入)、また、いくら出て行くのか(歳出)を見積もった額です。

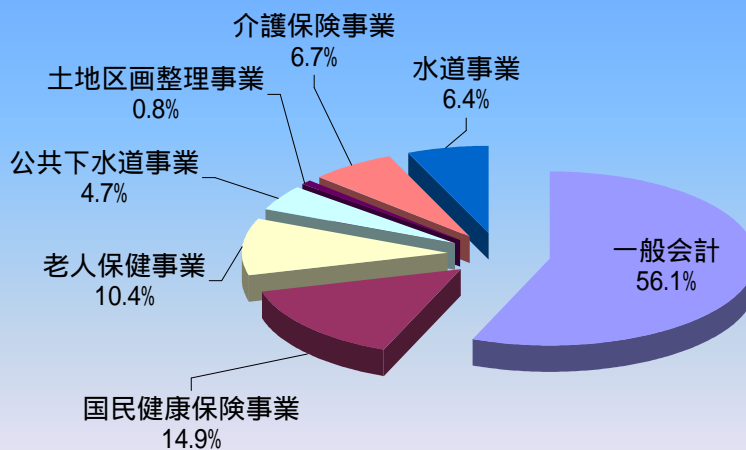
西原町では、一般会計(高齢者のための福祉、保育所、小中学校、消防、農業など)と特別会計(国民健康保険、老人保健、下水道、区画整理、介護保険)、また、企業会計(水道事業)の7会計から成り立っており、各会計でさまざまな事業が行われています。

## 各会計別当初予算額

区 分	予算額	増減率	
一 般 会 計	91億9,526万円	14.9%	
特別会計	国民健康保険事業	24億3,349万円	2.3%
	老人保健事業	17億 782万円	7.1%
	公共下水道事業	7億6,453万円	5.4%
	土地区画整理事業	1億2,943万円	7.9%
	介護保険事業	11億 468万円	13.0%
企業会計	水道事業	10億5,155万円	3.6%
合 計	163億8,676万円	9.6%	

水道事業予算については、収益的支出と資本的支出を合算したものです。

各会計予算の構成

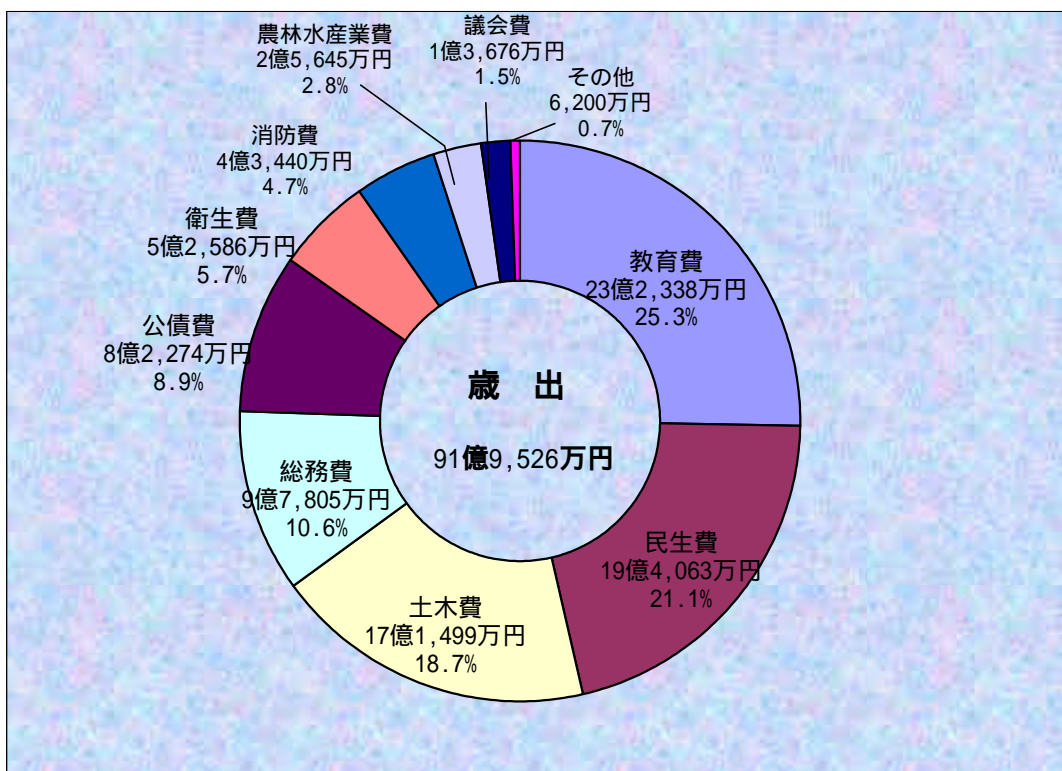
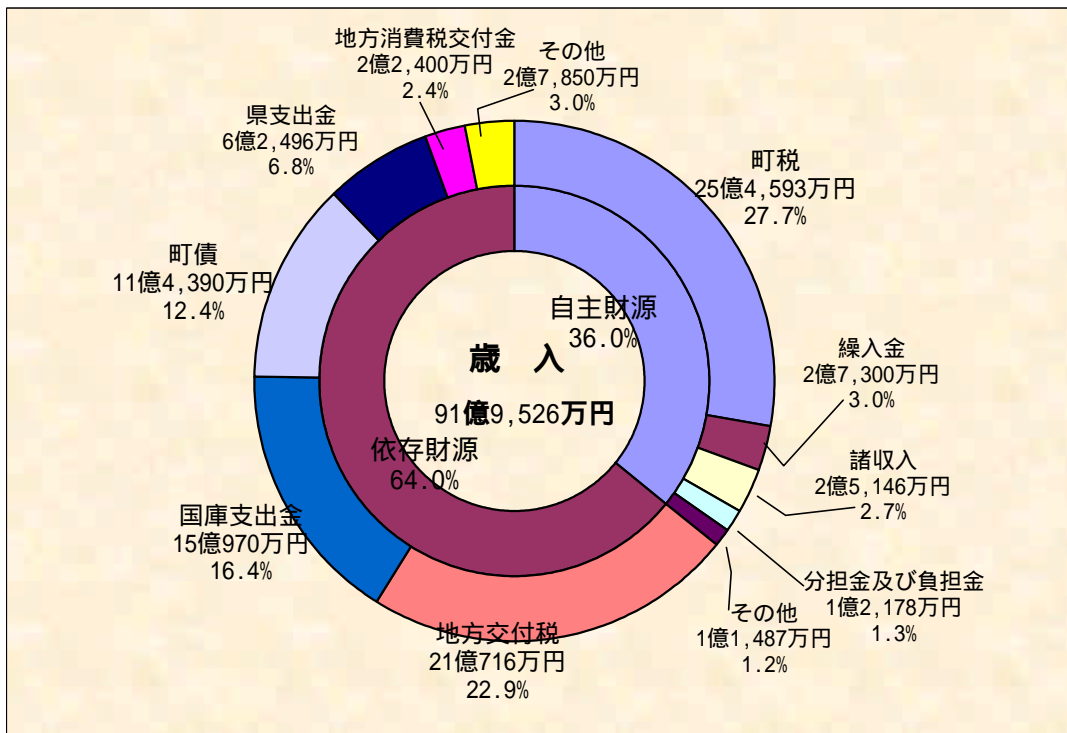


# 一般会計

## 一般会計歳入歳出予算（目的別）

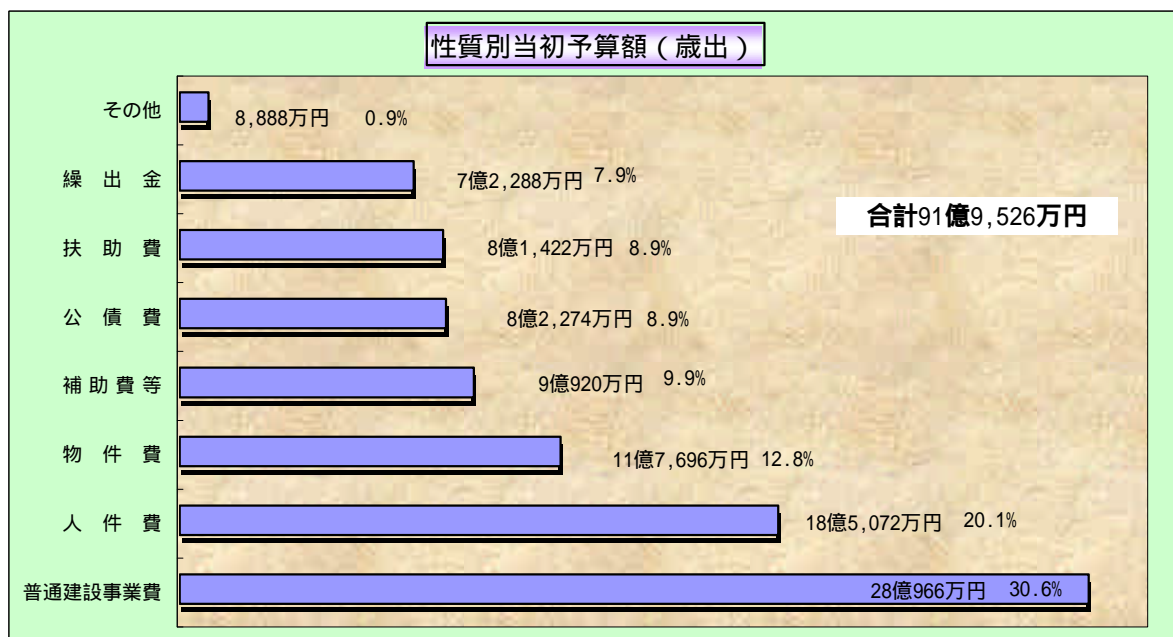
平成14年度一般会計当初予算額は、総額91億9,526万円で前年度と比べて11億9,330万円（14.9%）の増となっています。歳入では、町債、国庫支出金、県支出金が増加したこと、歳出では、坂田小学校校舎の増改築事業や町立図書館用地購入費の教育費と東崎公園整備事業や道路整備事業の土木費で大幅な増加となっています。

歳入における町税、諸収入、繰入金などの自主財源は33億0,704万円で構成比36.0%、また、地方交付税、国庫支出金、町債などの依存財源は58億8,822万円で構成比64.0%となっています。



## 性質別歳出予算

平成14年度歳出予算を性質別に分類すると以下のとおりになります。その中で特に多くを占めているものは、普通建設事業費と人件費となっています。



## 用語解説

普通建設事業費とは？	道路、学校や公共施設の建設などに要する経費のことです。
人件費とは？	職員や非常勤職員、議員、各種委員へ支払われる給与や報酬などです。
物件費とは？	旅費、交際費、消耗品購入費、備品購入費、使用料、委託料などです。
補助費とは？	各種団体への補助金、報償金、保険料などです。
公債費とは？	町が借りたお金の返済金のことです。
扶助費とは？	生活を援助するための費用や就学を奨励するための費用などです。
繰出金とは？	特別会計（国民健康保険、公共下水道事業など）や基金に支出するものです。